

平成 2 7 年 第 3 回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印 西 市 議 会

順番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問 方式
1	北 総 志 政 会	1 3 番	藤 代 武 雄	一問 一答
2	新 政	1 9 番	板 橋 睦	一問 一答
3	創 進	1 1 番	酢 崎 義 行	一問 一答
4	ひ ぎ し	1 5 番	松 尾 榮 子	一問 一答
5	公 明 党	7 番	浅 沼 美弥子	一問 一答
6	日 本 共 産 党	2 0 番	山 田 喜代子	一問 一答

北 総 志 政 会

質問者 13番 藤 代 武 雄

1 市長の選挙公約・市政運営について

板倉市長の任期も残すところ1年を切り、選挙公約、市政運営についての検証を進めておると思いますが、このことを踏まえ、下記のとおり伺います。

- (1) 選挙公約の検証と評価について
- (2) 3ヶ年の市政運営の評価について

2 印西市総合計画について

印西市総合計画の第一次基本計画が平成27年度で終了することから、現在、第二次基本計画の策定を進めておると考えます。第一次基本計画、各実施計画の検証も行つての策定と思ひます。このことを踏まえて下記のとおり伺ひます。

- (1) 第一次基本計画と各実施計画の検証と評価について
- (2) 分野をまたがる施策についての考え方と方策について
- (3) 分野をまたがる取り組み状況について

3 総合戦略策定について

平成26年11月にまち・ひと・しごと創生法が成立し、平成27年度中に印西市としての総合戦略策定が求められております。このことを踏まえて下記のとおり伺ひます。

- (1) 総合戦略策定の進捗状況について

4 印西市の債権管理について

地方自治法によると、「『債権』とは、金銭の給付を目的とする普通地方公共団体の権利をいう。」とあります。金銭債権は、「地方税」、「公債権（強制徴収公債権、非強制徴収公債権）」および「私債権」に分類することができます。印西市におけるそれらの債権管理について、下記のとおり伺ひます。

- (1) 平成26年度から繰越された収入未済債権について

下記3項目につき、債権区分ごとと総合計をお尋ねします。

- ① 債権数
- ② 所管課数
- ③ 収入未済額

- (2) 債権の徴収について

- ① 債権を徴収する担当課はどうなっていますか。
- ② 強制競売や破産の送達がされ、印西市が債権を有している場合、いかな

る債権も申出を行っていますか。

- ③ 徴収の一元化に向けた組織づくりはできていますか。
- ④ 債権の取扱いについて、条例の規定はどうなっていますか。
- ⑤ 債権について、統一した基準をつくり、公平公正な債権管理を図り、健全な行財政運営に資するという考えはありますか。

5 教育行政について

地方行政法の改正、公立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基準の改定をはじめ公教育に関する環境が大きく変わりつつあります。このことを踏まえて下記のとおり伺います。

- (1) 総合教育会議についての市長の考え方
- (2) 小・中学校の適正配置についての検討状況について
- (3) 教育施設の改修計画の検証について
 - ① 学校給食センター整備基本計画に関する検証について
 - ② 学校・社会教育施設の改修計画の検証について
- (4) 教育長在職3ヶ年における教育行政の評価について

新 政

質問者 19番 板橋 睦

1 予算編成過程の公開について

- (1) 新規事業の予算の出し方
- (2) 財源の確保について
 - ① 千葉ニュータウン投下資金割合確定

2 千葉ニュータウンへの企業の進出状況について

- (1) 来年4月にはグッドマンジャパン、プロロジスの開業が予定されているが、他にどのような計画があるのか。

3 道路の整備状況について

- (1) 印西・市川線
- (2) 千葉・竜ヶ崎線

- (3) 白井・印西線
- (4) 佐倉・印西線
- (5) 北千葉道路
- (6) コスモス通り
- (7) 00-031号線

4 農業問題について

- (1) 有害鳥獣被害対策
- (2) 農産物販売事業
- (3) 農地中間管理事業

5 公共交通について

- (1) ふれあいバスの現状と課題
- (2) 交通弱者対策
 - ① 買い物
 - ② 医療機関

6 学校問題について

- (1) 学校の適正配置について
 - ① 学校適正配置審議会の進捗状況
- (2) 小倉台小学校オープンスペースの教室工事はしたのか。
- (3) 教室エアコンの設置について
 - ① 宗像小学校に家庭用エアコンを設置したが。
 - ② 他の小学校は来年夏までに設置できるのか。
- (4) 通学路の安全確保について
 - ① 通学区域審議会の答申後の通学路
 - ② 危険と思われる箇所と対策

7 いこいの湯の再開について

- (1) 平成29年4月再開予定だが、再開を早めることはできないのか。

創 進

質問者 11番 酢 崎 義 行

印西市総合計画では、将来都市像を「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」として、その実現に向けて、さまざまな政策を展開していくための指針として定めてあり、市の最上位計画となるものとしています。

そして、その目標達成を平成32年度としていますが、今年度はその中間の年度となっていて、第1次基本計画が終了する年です。

住み良さランキング日本一という評価は、それはそれで喜ばしいことですが、総合計画でうたっている将来都市像は、それとは全く違うもので、市民の心の中に築き上げるものであると思います。

そこで、以上を前提として、今回はまちづくりを大きなテーマとして質問します。

1 街づくり事業

(1) 印旛中央土地区画整理事業について

当事業は、保留地の売却先が無いため事業が膠着状態になっている。現状では、経済状況が上方に向きかけたとは言え、多少安価であっても将来の土地の取得のために出資する企業は少ない。

① 保留地の売却先獲得のためのトップ営業の成果は。

(2) 6 駅計画復活について

かつて6 駅計画地付近では、大型商業施設の進出があり、今後大きく躍進する地域と言える。

① 6 駅の建設を復活させる計画は無いか。

② 近隣の民間会社との間で話題にならないか。

(3) 地域公共交通について

相変わらず重要度最大、満足度最低の地域公共交通対策であるが、対策も難しい。吉田地区では、住民の要望が強かったため、3年半前から地縁団体の活動として、買い物バスを走らせている。交通弱者にとって、かけがえのない存在となっているが、通院等そのほかのニーズにはこたえられていないのが実情である。

① 地域公共交通対策として、市の新たな事業の計画はあるか。

② デマンドタクシーの運行を計画中であるが、助成を受けられる可能性は。

(4) 防災設備

印西市地域防災計画では、市の備蓄対象人口は39,205人となっていて、最低1日分の食料と3日分の生活必需品の備蓄に努めるとなっている。

また、地震災害を中心とする何度かの災害経験から、最近は様々な防災設備が考えられている。

① 印西市の防災用の備蓄の内、トイレについて3日分の備蓄の中に入っているか。

② 食料や水は賞味期限が過ぎれば交換するが、備蓄トイレについては。

(5) 地籍調査

地籍調査は、街づくりの原点であると思う。全国の完了割合が51%となった今、着手すべき時期と考える。印西市でも着手に向けた準備を進めていると聞いている。

① 準備の進捗状況は。

② 今年度は栄町でも実施していますが、内容を把握しているか。

2 まちづくり事業

(1) 情報端末を利用した行政情報配信サービスの導入について

会派創進では、6月初旬富田林市を行政視察した。富田林市では、広報誌、インターネットのホームページに次ぐ第3の情報伝達手段として情報端末を利用したメール配信を行っている。

① 印西市でも導入する計画はあるか。

(2) いんざい健康ちょきん運動について

自宅近くで手軽にできる「いんざい健康ちょきん運動」の人气がどんどん上がっていると聞く。

① 現在の取組みグループ数と参加人数は、前年同月比でどうなっているか。

② 市外からの問合せも多いと聞くが、現況はどうか。

③ バージョンアップの予定はあるか。

(3) 市長のまちづくり事業について

① まちづくりについての市長の認識は。

② 今期の成果と残した課題をどのように総括するか。

ひ ざ し

質問者 15番 松尾 榮子

1 印西市のまちづくりの指針となる市総合計画ほかの主要計画について伺う。

(1) 平成27年度を最終年度とする第1次基本計画について

- ① 進捗状況
- ② 財政計画の目標と実際
- ③ 次期基本計画へ引き継ぐ課題

(2) 平成28年度からスタートする第2次基本計画について

- ① 策定状況
- ② 重点事業

(3) 「まち ひと しごと総合戦略」について

- ① 策定方針とスケジュール

2 「住みよさ日本一」が実感できるまちづくりに向け、地域（各駅圏）ごとの主要課題の取り組み状況について伺う。

(1) 木下地区～印旛高校跡地活用について各事業の進捗状況

- ① (仮称)木下交流の杜広場整備事業
- ② 学童保育施設整備事業
- ③ 歴史資料展示施設整備事業
- ④ スポーツ広場整備事業
- ⑤ 幼保一体型施設整備事業
- ⑥ (仮称)木下交流の杜公園整備事業
- ⑦ 農場活用事業
- ⑧ 就労サポートセンター整備事業
- ⑨ その他関連事業（道路、上下水道等）

(2) 小林地区～小林駅舎と周辺整備について

- ① スケジュールと進捗状況

(3) 牧の原地区～牧の原地区（旧21住区）のまちづくりについて

- ① 入居の状況
- ② 新規土地処分契約等の動向
- ③ 別所緑地周辺整備について
- ④ 牧の台地区の整備について
- ⑤ 牧の原駅圏郵便局問題

(4) 印旛地区～印旛中央地区開発の現況と見通し

(5) 千葉ニュータウン中央地区～中央駅圏の住宅開発と学校問題について

- ① 駅圏全体の建設、販売、入居開始、計画戸数（平成27年度現在）
- ② 学校区ごとの上記戸数

3 印西クリーンセンター次期中間処理施設整備事業について伺う。

- (1) 整備基本計画検討委員会、地域振興策検討委員会の現況
- (2) 現クリーンセンターの延命化対策について

4 印西の産業振興に向けて、各施策について伺う。

- (1) プレミアム付き商品券の販売状況
- (2) 地元産農産物の移動直売について
 - ① 計画の現況
 - ② 市の支援体制
- (3) 道の駅構想について
 - ① 取り組み状況

5 子どもたちの未来を育む教育施策について伺う。

- (1) 学校適正配置の検討状況
 - ① 適正規模の考え方
 - ② 学校適正配置審議会のスケジュールと検討状況
 - ③ 審議会答申後の取り組み予定
 - ④ 保護者・地域住民意見の反映について
 - ⑤ 緊急の対応を要する地区についての考え方
- (2) 子どもが安心して成長できる教育環境づくり
 - ① 不登校の状況把握と対応
 - ② いじめの把握と対応
 - ③ ネットいじめ対策について

6 安心・安全なまちづくりについて伺う。

- (1) 防犯パトロールの実施状況
- (2) 自主防災組織の結成状況
- (3) 災害時等要援護者避難支援体制の進捗状況
- (4) 消防団・女性消防団の活性化について

公 明 党

質問者 7番 浅 沼 美弥子

1 有権者の投票率向上の取り組み

- (1) 印西市の投票率の現状と課題等
- (2) 公職選挙法改正に伴う新有権者数
- (3) 大学機関等との連携についての考え
- (4) 新有権者等に対する啓発・周知について
- (5) 成人式での模擬投票や子ども議会の開催等の提案に対するその後の取り組み

2 防災・減災対策

- (1) 水害対策 タイムライン策定の考え
- (2) 避難所の環境整備の進捗状況
避難所開設表示、安全対策、トイレ改修等

3 まち・ひと・しごと創生

- (1) 総合戦略策定の進捗状況等について
- (2) 印西市プレミアム商品券発行事業の進捗状況について
- (3) 地方創生先行型交付金活用の先行事業の進捗状況等について

4 印旛高校跡地活用

- (1) 障がい者サポートセンター整備事業について
- (2) 市民農場整備事業について
- (3) (1)(2)を融合させるなど福農連携事業の考え

5 子ども子育て支援の充実

- (1) 今後の施策の方向性についての考え
- (2) 保育形態・施設の充実について
- (3) 総合的な放課後児童対策について
放課後子ども教室の現状と今後の計画についての考え
- (4) 子育て家庭への生活支援の推進について
子ども医療費助成事業の対象拡大や予防接種助成事業の拡大など新たな負担軽減策についての考え
- (5) ひとり親家庭への生活支援の充実について
- (6) 子育て支援情報の配信について

6 地域包括ケアシステム構築の進捗状況

- (1) 介護予防事業の充実
- (2) 医療と介護の連携強化
- (3) 認知症施策の充実
- (4) 高齢者福祉のニーズ把握について

日本共産党

質問者 20番 山田 喜代子

1 戦争法案に対する市長の見解

安倍政権は、これまでの政府の憲法解釈を180度変え、日本がどこからも攻撃されていないのに、集団的自衛権を発動して、アメリカの戦争に参戦しようとしている。「二度と海外で戦争はしない」と誓った憲法の平和原則を根本から破壊するもので、「平和安全法制」どころか、「戦争法案」そのものだ。市長の見解を伺う。

2 第一次基本計画（2012～2015年）の評価と、第二次基本計画（2016～2020年）の策定にあたっての施政方針を伺う。

3 公共交通の充実について

(1) 北総線運賃引き下げを

住民の生活を脅かす北総線の高運賃の引き下げに、どう対策をとっていくのか。

北総鉄道が千葉ニュータウン鉄道に支払う「線路使用料」について、どう考えるか。

(2) ふれあいバス、デマンド交通、乗合タクシーの拡充、実現で、より住みよいまちづくりを、どうつくる考えか。

4 中央駅圏中央南地区の課題

- (1) 中央南地区へのマンション増築に伴い、人口急増の状況の中、子どもたちは、地域に小学校が無い為、小倉台小へと通学している。「学校適正配

置審議会」の資料によると、小倉台小は、平成27年度の児童数は、831名（25学級）、6年後は228名増の1,113名となる。原山小は現在225名である。1校分の児童が増えることとなる。小倉台小の増築ではなく、新たに小学校建設が必要ではないか、考えを問う。

(2) 中央南地区の買物難民対策

内野、原山、高花、西の原、木刈地区には、ショッピングセンターが設置されている。(高花はスーパー撤退)

しかし、中央南地区は住宅のみで構成されている。その為、遠くまで足をのばさないと、買物に行くことができず、不便な生活をしている。近くで買物ができるよう、とりわけ生鮮食料を扱う朝市などの設置が求められている。JAと共同で、あるいは、地元の農家と連携の上、実施する考えは無いのか、地産地消の推進ともなるが、どうか。又、他の地域でも住民の要求があれば実施すべきと考える。

5 マイナンバー制度について

国民の各種個人情報個人番号（マイナンバー）によって結びつけ活用する制度は、利便性が強調されているが、犯罪等の危険性を高め、国民に負担増をもたらすものだ。

- (1) 2016年1月から様々な場面でマイナンバー記載が義務づけられ、番号の管理という負担が増える。市民生活上のメリットはあるか。
- (2) 情報流出事件が相次いでいる中、番号が漏れたらプライバシーはどうなるのか、守られるのか。
- (3) 不正取得、カード偽造、なりすまし犯罪等の危険はないのか。

6 文化ホール・公民館の利活用について

- (1) 文化ホールの1Fロビーの活用・時間単位の利用を
- (2) 公民館をより使いやすく、便利に、環境対策を

例として、ふれあい文化館の暑さ、寒さ対策、空き室を利用した学習室の設置を求める。

7 いこいの湯 予算増額で早期再開を

先の6月定例議会において、市長は「突貫工事でもやれば、私はできると思う」と答弁された。答弁どおりに早急に再開の工事を急ぐべきだ。改めて考えを伺う。

8 高齢化社会に向けてのまちづくりを

市では、高齢化が着実にすすんでいる。高齢化率の高い地区を選び、対策を考えるべきではないか。買物難民、診療所の設置、空家問題など、一般の市民

参加のもと課題の抽出を行い、調査・研究をする考えはないか。

特に高齢化がすすんでいる地区を4地区あげてみる。

・ニュータウン地域	牧の木戸1丁目	35.82%
	木刈3丁目	38.84%
・成田線沿線	大森地区	33.48%
・印旛地区	岩戸	36.37%
・本埜地区	笠神	38.52%

これらをモデル地区として、市全体のまちづくりを考えるべきではないか。